

# 患者さまへのお知らせ・お願い

## □ロビーコンサートのお知らせ

- 2月20日(月) 丹野 静さん他 ピアノ・チェロ演奏会
- 3月 9日(木) 道 志郎さん ピアノ演奏会
- 3月23日(木) 遠藤 美香さん フルート演奏会

中央棟1階会計前ロビーにて開催いたします。30分間の演奏会です。是非お越しください。

## □女性専門外来開設のお知らせ

女性専門外来を開設しましたのでご案内致します。

### ■女性専門外来とは

女性特有の疾患・症状について、男性医師では相談・受診がしづらいという女性のために、総合的な診断を女性医師が行うものです。

### ■診療内容

総合内科の知識・経験豊富な女性医師が診察を行います。

### ■診察日・担当医

毎週水曜日 9:00~12:00

### ■予約・受診方法 **完全予約制**

◆お電話で予約 045-949-7489 受付時間 13:00~17:00(平日のみ)

◆FAXで予約 045-949-7157 受付時間 24時間受付

※ **「女性専門外来受診希望」の旨を記載の上、次のことを記載してお送りください**

お名前(フリガナ)、性別、生年月日、電話連絡先、受診希望日(第3希望まで記載)、診察券番号(診察券をお持ちの方)

### ■受診費用

健康保険法の定めによる自己負担分のお支払いとなります。なお、当院初診の場合(当院他科での診療が終了している方を含む)、他院からの紹介状をお持ちでない患者さまにつきましては、特定療養費として2,100円(税込)が保険診療分とは別に発生いたしますので予めご了承願致します。

### ■その他

ご不明な点は、内科外来(2階25番受付※代表番号へご照会下さい)まで願致します。045-949-7000(代表)

# 患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に早急な対応が必要なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。(※=進捗報告)

ご意見・ご要望	改善等
掲示物について	「西棟連絡通路の所にある、『平成15年より負担額が変わります』『被保険証が変わります』という案内はもう平成17年度にもなるのだから、要らないのでは?」「外来の医師の専門紹介が古い事があります」とのご意見を頂きました。 医師の専門分野の紹介や外来担当表は(ホームページを含めて)毎月更新を怠らないように致します。また、一般掲示物につきましては、掲載期間を管理した上で掲載する運用を現在検討しております。ご意見有難うございました。

## 編集後記

2月になり今年もｽｷﾞ花粉症の季節となりました。都市部では5人に1人がｽｷﾞ花粉症に罹患しています。今年のｽｷﾞ花粉飛散量は例年より少ないものと予想されておりますが、花粉症の患者さまは、たとえ少量であっても花粉が鼻腔に付着することでくしゃみ・鼻水・鼻閉などの症状が出現します。花粉症対策として、マスク・眼鏡着用も有効ですが、薬を内服することで症状は抑えられます。お悩みの方は耳鼻咽喉科へ相談しましょう。

また喫煙(受動喫煙)により鼻腔内の機能(肉眼では観察できないほどの小さな線毛が高速で運動し、花粉・インフルエンザウイルスなどを排除する機能)が低下・消失し花粉症症状を悪化させ、ウイルス感染を頻繁に生じることとなりますので、喫煙されている方は真剣に禁煙を考慮してみは?禁煙することで、肌がきれいになり、食事がおいしくなりますよ。(本当)

広報委員会 委員 門倉 義幸

北部病院だより 第37号

平成17年2月9日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

# 北部病院だより 第37号

第37号【2006/2/10 発行】

発行者: 昭和大学横浜市北部病院



西棟の中庭に春の便り。紅梅が咲き始めました。

## 巻頭言

### 『 神経内科と神経内科的疾患にまつわる迷信と誤解 』

神経内科という科名は今になっては珍しくないものとなりました。しかし、本邦における神経内科の歴史は決して古いものではありません。私の母校である東京医科歯科大学にて神経内科が独立したのは、私が大学を卒業した昭和55年のことでもあります。また、昭和大学病院に神経内科が独立したのは、私が昭和大学に参りました昭和63年のことでした。一方、それまで神経内科の疾患が知られていなかったのではなく、一般内科、精神神経科、脳外科の先生方が診断治療されてきました。

神経内科とはどういう科ですかという質問を良く受けます。一番わかりやすい説明は、悲しいかな、「脳神経外科の内科版」です。これでお分かりのように、私たちは脳、脊髄、末梢神経、さらには筋の疾患を内科的に拝見しております。非常に範囲が広い領域ですので、神経内科医の中にもさらに専門家があり、脳疾患を主体に診る医師、末梢神経疾患が専門の医師、筋疾患が専門の医師などさまざまです。神経内科と言いますと、「神経科」または「精神神経科」、時には「心療内科」との異同が問題になる場合があります。神経科と精神神経科は同じ意味です。古くから日本やドイツでは神経内科疾患は精神疾患を専門とする「精神神経科」で診察されていたことがこれらの名称に反映されていると考えられます。精神神経科は脳の病気よりも精神の病気、神経内科はより即物的な脳や脊髄自体の疾患を拝見すると定義すればわかりやすいと思います。

「心療内科」は、精神疾患ではない心の病を拝見するかといえましょう。精神疾患とは統合失調症、躁うつ病、神経症などが含まれます。現代はこの枠に入らない心の悩みも多いはずで、いわゆる「自律神経失調症」がこれに該当します。ところが、この名称はわれわれ神経内科医にとっては曲者で、神経内科における「自律



内科 助教授 福井 俊哉

神経」とは、血圧、瞳孔の大きさ、発汗、胃腸の動きなどを調節している神経系のことを意味します。神経内科における自律神経異常とは、例えば、立った瞬間に血圧が急落して失神するとか、暑いのに汗が出ないなどの症状のことを言います。

このように、神経内科の領域は、脳外科のみならず、精神神経科、整形外科、一般内科との大きなオーバーラップがあります。したがって神経の病気を心配されて神経内科を受診された場合でも、精神神経科、心療内科、整形外科や内科をご紹介することもあります。

ここで、神経内科疾患にまつわる迷信と誤解について触れたいと思います。最近、テレビや雑誌にて各種疾患の早期症状を見逃さないようにとの話題が多く、興味を持っていらっしゃる方も多いと思います。これらの報道が病気についての啓蒙になっていれば大変よろしいのですが、それが行き過ぎて扇動になっていることが少なくありません。以下にその代表的なもののいくつかについて解説したいと思います。

1. 頭痛は脳梗塞の始まり?
 

頭痛があり、くも膜下出血、脳腫瘍や脳梗塞を心配されて受診される方は多くいらっしゃいます。確かに、くも膜下出血と脳腫瘍は頭痛の原因になりますが、これらの疾患は同時に神経学的異常(意識障害、運動麻痺など)を伴いますので、「普通の頭痛」とは異なります。さて、脳梗塞は頭痛の原因となるでしょうか? 脳の血管が裂けた結果閉塞する「解離性動脈瘤」は、非常に大きな脳梗塞で脳が腫れている状態(脳浮腫)を伴っているものは頭痛を呈することがあります。しかし、そのような場合には意識障害や明らかな神経症状を伴っていますので、歩いて外来に来院できるような状態ではないはずで、したがって、「頭痛は脳梗塞の始まりではない」と考えていただいて構いません。
2. 疲れが出たら脳梗塞の始まり?
 

同様に、手足の「しびれ」から脳梗塞を心配される方も少なくありません。まず、はっきりさせるべきことは、「しびれ」の意味合いです。最も多く拝見する「しびれ」はじんじん、びりびりであり、触る、痛い、冷たい・熱い感覚には異常がないものです。一方の「しびれ」が、触る、痛い、冷たい・熱い感覚に異常があることを意味する場合(感覚鈍麻)は病気を示唆する可能性があります。脳梗塞を初めとした脳疾患、脊髄疾患、末梢神経疾患を考えなければいけないのは、この「感覚鈍麻」が出現したときです。単なるじんじん、びりびりの場合には余り神経質にならなくても大丈夫です。
3. ど忘れは認知症の始まり?
 

頻度の高いものは「ど忘れ」、つまり、知っているがその場ですぐに思い出さないことです。これは記憶の障害というよりは、記憶を取り出すことが一時スムーズにいかない状態です。後になり、全く無関係に思い出すことがあります。この「ど忘れ」はいろいろな原因で前頭葉がうまく働かないときに生じます。別のことで忙殺されているとき、注意を奪われているとき、単に疲れているときのほかに、加齢に伴う前頭葉機能低下などが代表的な場合です。物忘れの中で、認知症の前触れとなりうるものは、「内容」ではなく「事象」を忘れる場合です。つまり、前の夕飯に食べた「内容」を忘れ、すぐには病的とは考えませんが、前日夕飯を食べた(事象)かどうかを思い出さない場合には、早期の診察が必要かもしれません。

昭和大学横浜市北部病院では、神経内科は「総合内科」の中に含まれており、2人の神経内科医が対応しております。混雑してご迷惑をおかけするかもしれませんが、何かの際にはご相談ください。

# 北部イベント

## 病棟クリスマス会・餅つき大会

12月は、各病棟で様々なイベントが開催されました。12月20日をはじめに、中央棟4階B病棟・西棟1階緩和ケア病棟・西棟2・3階病棟にてクリスマス会が開催されました。

それぞれの病棟のレク係を中心にイベントを企画しました。スタッフによるフルートやピアノの演奏会やボランティアさんと一緒にクリスマスソングを歌ったり、サンタ・トナカイと記念撮影をしたりして過ごしました。クリスマス会の主役はやっぱりケーキ。ケーキを囲んでの会食は、ご家族、お見舞いの方も一緒に楽しい時間となりました。次のイベントも楽しみにしててください。

西3階病棟では、クリスマス会に引き続いて、12月27日に新年の鏡餅をみんなでつきましょ!!と餅つき大会を開催しました。病院だよりでの紹介は初めてののですが、実は毎年恒例の行事なのです。先ずは男性看護師さんが、力強くべったんべったん!!!その後、入院されている皆さんで、少しずつ新年のお餅に杵を振り下ろしました。つき終わったお餅は看護師さんの手により鏡餅に変身。ミカンを頂に載せて、はい完成!! 病棟の入口に飾られました。手作りならではのちょっとデコボコした感じがまた何とも言い得ぬアジのある鏡餅でした。



餅つき大会の風景 (西3階病棟)

## 平成17年度北部病院秋季講座

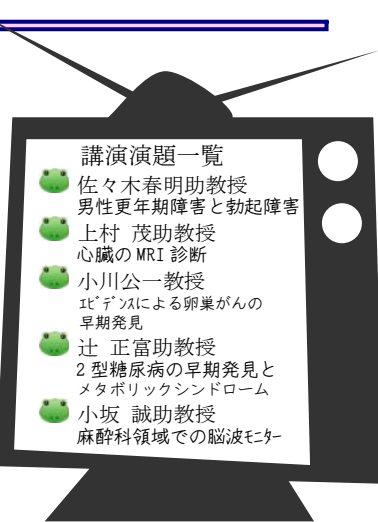
今年度も開院以来の毎年行われている、北部病院秋季講座を開催いたしました。これは病院職員を対象として行われる講演会で、各診療科で活躍されている先生より、専門分野の講演をしていただいているものです。

同じ屋根の下で勤務していても、講演をしていただいている、医師の名前や診療科は知っていても、専門分野やその内容について、思いの外分かっていないことがあります。

講演会は、実際の学会等で使用されているスライドやビデオ等で行われることから、専門性が高く理解するには難しい部分もありますが、診療科の特徴を知る貴重な機会となっております。

講演会に参加することによって、医師の専門だけではなく、人柄や性格なども見ることが出来ます。少し怖い人かと思つたに意外に面白い方だったとか、専門性の高い話なのに理解できる話し方に感心したりとか.....

今年度は、11月14日の佐々木助教(泌尿器科)講演会を皮切りに、順次上村助教(循環器科)・小川助教(産婦人科)・辻教授(内科)・小坂助教(麻酔科)5名の先生方の講演会となりました。今年度の秋季講座演題を右にご紹介いたします。



講演演題一覧  
 佐々木春明助教  
 男性更年期障害と勃起障害  
 上村 茂助教  
 心臓のMRI診断  
 小川公一教授  
 エビデンスによる卵巣がんの早期発見  
 辻 正富助教  
 2型糖尿病の早期発見とメタボリックシンドローム  
 小坂 誠助教  
 麻酔科領域での脳モニタ

## 医師の配属・異動・退職

### 新規採用・配属医師

2/1付【1/2~2/1】

- 【附属病院より】 □ 杉山 耕一 (昭和大学脳神経外科学教室より)  
 【院内配置転換】 □ 小松 大芽 (救急センター → 麻酔科へ)

### 退職・転出・長期出張医師

1/31付【12/1~1/31】

- 【附属転出】 □ 福田 直 (昭和大学脳神経外科学教室へ)  
 □ 麻生 太行 (昭和大学藤が丘病院 泌尿器科へ)  
 【退職】 □ 島田 洋子 (皮膚科)  
 □ 石原 千尋 (リハビリテーション科)

## 診療統計

2005年12月統計データ( )内は1日平均

外来患者数 31,067人(1,350.7人) 入院患者数 18,250人(588.7人) 救急車搬送件数 527人(17.0人) 手術件数 501件(26.4件)

## 外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

平成18年2月1日改訂

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器科	医局員(初)	医局員(初)	鹿間裕介(再)	医局員(初)	医局員(初)	医局員(初)	鹿間裕介(再)	神尾義人(再)	医局員(初)	医局員(初)	医局員(初)
		笠原慶太(再)		中神和清(再)			笠原慶太(再)	高宮有介(再)	北見明彦(再)	大塚寿々子(再)	
	北見明彦(再)		中島宏昭(初)				医局員(初)	松田正典(再)	中島宏昭(再)	中島宏昭(再)	
消化器科	医局員(初)	大塚和朗	田中淳一	辰川貴志子	請川淳一	請川淳一	井上晴洋	井上晴洋	大塚和朗	大塚和朗	土曜初診1
	小林泰俊	小林泰俊	医局員		松下達彦	松下達彦	小鷹紀子	永田浩一	為我井芳郎(第1)		日高英二
				加藤博久	加藤博久	医局員(初)	笹島圭太	笹島圭太	医局員(初)	鎮西 亮	里館 均
			榎田博史	榎田博史	岩下方影(第2)	岩下方影(第2)	医局員(初)	山村冬彦	三並 敦	三並 敦	
	山村冬彦	山村冬彦	工藤進英		石田文生	橋本雅彦	榎田博史	新谷 隆	遠藤俊吉	遠藤俊吉	土曜初診2
					三並 敦			工藤進英(特殊診)			
循環器科	緒方信彦	中島邦喜	落合正彦		小原千明	岡田良晴	荒木 浩		芦田和博	加藤源太郎	医局員
			堀村直栄		大動脈外来					西巻博(第3)	
メンタルケア(初)	工藤行夫(精神全般統合失調症)		吉益晴夫(精神全般・記憶障害・70-79歳)		松丸憲太郎(精神全般認知症)				秋元洋一(精神全般統合失調症)		西岡玄太郎(精神全般うつ病)
メンタルケア(再)	真田建史		秋元洋一		西岡玄太郎				工藤行夫		松丸憲太郎
メンタルケア(再)	谷 将之		太田晴久		山本英樹				青山 洋		小城幸乃
内科(緩和ケア)			医局員		工藤謙太郎	松丸憲太郎(物忘れ外来)		医局員		堀 宏治(シム-外来)	医局員
内科(23-2)	山田真帆(2,4)(内科消化器)	山本真寛(一般内科)			菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)			菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)
内科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)	高橋 健(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)		衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	山本真寛(一般内科)	川崎仁志(内科神経)	医局員
内科(23-5)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)	三代川章雄(内科消化器)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)		三代川章雄(内科消化器)
内科(25-1)	榊田宗太郎(内科神経)		中山文義(腎)(第1火休診)		榊田宗太郎(内科神経)		滝西安隆(一般内科)				滝西安隆(内科一般)
内科(25-2)		井上 稔			木村 聡(内科・感染症)						医局員
内科(25-3)	田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)			田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)		渡邊浩之(一般内科)
内科(25-5)	荏原 徹(糖尿病,内分沁)		嶋田 顕(内科腫瘍)		荏原 徹(糖尿病,内分沁)		嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	荏原 徹(糖尿病,内分沁)	富田高重(第1)(内科消化器)	荏原 徹(糖尿病,内分沁)
内科(25-6)	吉田典世(一般内科)	三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	吉田典世(一般内科)			緒方浩顕(内科腎臓)	緒方浩顕(内科腎臓)	三上哲弥(内科消化器)		緒方浩顕(内科腎臓)
内科(25-7)		内田奈名子(一般内科)	辻 正富(糖尿病,内分沁)	辻 正富(糖尿病,内分沁)	伊藤英利(内科腎臓)	内田奈名子(一般内科)	辻 正富(糖尿病,内分沁)	辻 正富(糖尿病,内分沁)	伊藤英利(内科腎臓)		辻 正富(糖尿病,内分沁)
小児科	野中善治	神経外来	梅田 陽	乳児検診	北澤重孝	心臓外来	野中善治	成育外来70-79歳-外来	梅田 陽	乳児検診	医局員
小児科	曾我恭司	予防接種	曾我恭司	70-79歳外来	梅田 陽	腎臓外来(1,3)	曾我恭司	口腔発達(2,3)	京田学晃	70-79歳外来	医局員
小児科	高野忠将		野中善治	血液内科(4)	京田学晃	心理相談	松岡 孝	心理相談	高野忠将	上村茂(心臓)	医局員
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	杉山彰英(奇)医局員(偶)
皮膚科(初16-3)	宋 寅傑		濱口太造				濱口太造		宋 寅傑		医局員
皮膚科(再16-1)	濱口太造		宋 寅傑		濱口太造				濱口太造		光線療法外来
皮膚科(再16-2①)	佐々木雅美	外科手術	佐々木雅美	外科手術	佐々木雅美	外科手術		外来手術	佐々木雅美	外来手術	医局員
皮膚科(再16-2②)	松村卓美		松村卓美				松村卓美		松村卓美		
外科	中村明央		新井一成		新井一成		新井一成		中村明央		中村(奇)新井・山崎(偶)
外科			福成信博		山崎智己		井関雅一(偶)	福成信博	岩波正英(偶)		黒井克昌(偶土のみ)
形成外科	大塚尚治	美容外科			神崎温子	ヒ-リク'外来	[手術日]		大塚尚治		大塚(奇)神崎(偶)
脳神経外科(初再診)	池田尚人	(診断書外来)	医局員		池田尚人	退院後外来	飯田昌孝		池田尚人		飯田昌孝池田尚人(偶)
脳神経外科(再診)			池田尚人	飯田昌孝							池田尚人(奇)
整形外科	医局員(初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	医局員
整形外科	松久孝行	ギプス診予約のみ	古槻正洋		松久孝行	ギプス診予約のみ	古槻正洋		定方博史		医局員
整形外科	川崎恵吉		齋藤 元		定方博史		川崎恵吉		齋藤 元		
産婦人科初診(12-7)	鈴木紀雄(奇)安藤直子(偶)		高橋 諱(近藤瑞穂)		高橋 諱(御子柴尚郎)		小塚和人(近藤哲郎)		小川公一		医局員
産婦人科産科I(12-1)	近藤哲郎		小川公一		栗城亜具里		安藤直子		鈴木紀雄		
産婦人科産科II(12-6)	近藤哲郎			特殊診予約のみ			御子柴尚郎				特殊診予約のみ
産婦人科婦人科I(12-8)	小川公一		鈴木紀雄	特殊診予約のみ	近藤哲郎		高橋 諱		安藤直子	特殊診予約のみ	医局員
産婦人科婦人科II(12-6)			近藤哲郎		御子柴尚郎				栗城亜具里		
泌尿器科(初診11-1)	佐々木春明	椎木(検査)予約のみ	椎木一彦		深澤 立	深澤(検査)予約のみ	青木慶一郎	鈴木俊一(再診)	島田 誠	菅原 草(再診)	医局員(初再診)
泌尿器科(再診11-3)	島田 誠	島田(女性外来)予約のみ	深澤 立		青木慶一郎	青木(検査)予約のみ	椎木一彦	黒木和宏	佐々木春明	佐々木春明(男性外来予約)	
泌尿器科(検査11-5)		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ		特殊検査予約のみ	
眼科	玉井裕子	特殊診(玉井)	小池正直	特殊診(中村)	玉井裕子		小池正直	特殊診(小池)	玉井裕子		小池正直(奇)中村 徹(偶)
眼科	中村 徹		中村 徹	70-79歳外来(小倉)	小倉寛嗣		小倉寛嗣	特殊診(小倉)	中村 徹	特殊診(中村)	玉井裕子(奇)岡田法子(奇)
眼科	岡田法子	特殊診(岡田)	岡田法子				岡田法子	特殊診(岡田)	小倉寛嗣		小倉寛嗣(偶)
耳鼻咽喉科13-2①	門倉義幸(初診)	腫瘍甲状腺外来予約のみ	石田 良(初診)		医局員(初診)	東洋医学外来予約のみ	柳/徳丸(初診)	いひき外来予約のみ	医局員(初診)		医局員(初診)
耳鼻咽喉科13-2②	徳丸岳志(再診)			レーザー外来予約のみ			門倉義幸(再診)				
耳鼻咽喉科13-3	柳裕一郎(再診)		柳裕一郎	小児外来予約のみ			石田 良(再診)				
耳鼻咽喉科13-5	油井健史(再診)		島本久美子(再診)				補聴器外来K予約のみ		補聴器外来予約のみN		歯科器具予約のみ

◎ 放射線治療の外来日は、月火木金： 馳澤憲二医師です。  
 ◎ リハビリ科外来日は、 火曜日午後： 真野英寿医師です。